

2007年8月

「心に残る日本の風景」写真コンテストの入賞作品が決定！
大賞に、埼玉県・森住さんの応募作品『迫熱』

株式会社くらしの友

当社主催「心に残る日本の風景」写真コンテストの入賞作品が、6月におこなわれた最終選考会で決定しました。大賞（賞金10万円）に、埼玉県在住・森住さんの応募作品『迫熱』が選ばれました。

この企画は、当社が主催する第3回目の写真コンテストで、“心に残る日本の風景”をテーマに全国から写真を公募したものです。

応募作品は全部で1699点。応募者は8歳から87歳と老若男女を問わず、日本全国から作品が寄せられました。

これらの作品を日本写真作家協会、神奈川報道写真連盟審査員のカメラマン・江嶋隆氏、当社社長・伴良二が審査し、大賞、金賞、銀賞、銅賞（各1名・計4名）、春夏秋冬部門賞（各季節2名・計8名）、佳作（21名）の各賞を決定しました。

なお、入賞作品の一部は、当社が発行する2008年（平成20年）のカレンダーで使用します。各賞の講評は、次頁以降をご覧ください。

「心に残る日本の風景」写真コンテスト概要

審査員：カメラマン・江嶋隆氏（日本写真作家協会、神奈川報道写真連盟審査員）

株式会社くらしの友社長・伴良二

募集期間：2007年2月1日～5月31日

募集地域：日本全国

応募作品数：1699点

応募者数：676人（アマチュアのみ）

応募者年齢：8歳～87歳

個人情報保護法に関連し、受賞者の情報は苗字、在住県だけを公表させていただきます。受賞者の詳細についてお問い合わせがございましたら、弊社までご連絡いただきたいと思います。

この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

（株）くらしの友 総合企画部 後藤・竹田

03 - 3735 - 5357

〔 総 評 〕

応募総数約1700作品の中から、最終選考に残ったのは225点です。前回以上の応募を得たわけですが、いずれも質的にレベルの高い作品だったと思います。

「心に残る日本の風景」にふさわしく、日本にはまだこんな風景が残っていたのかと再認識させられたり、あるいは祭りや伝統行事から日本人の心の故郷をいまさらながら窺がい知ることができるなど、心に深く印象付けられる作品に多く接することができました。

また日常生活を撮しとる中で家族の絆を十分に伝えている作品や作者自身の思い出の風景、一方で林立する高層ビル群など都会の中に“美しい日本”を追い求めた作品にも出会うことができました。

いずれも単なる日本の風景ではなく、それぞれの写真から撮影者自身の心に感じた風景が伝わってくる作品が多かったのが今回の特徴です。

〔 各賞の講評 〕

大 賞（1作品）

「迫熱」（埼玉県・森住 様）

福島県の“相馬の馬追い”をダイナミックに取り上げ、その迫力が見る人に伝わってきます。直線からカーブに差し掛かかるところのスピード感をしっかり捉えたのは見事。馬形もさることながら、騎乗する一人ひとりの真剣な表情もみてとれます。瞬間を捉えたシャッターチャンスがいい。あえていえば幟旗の先端も撮ってれば、さらに写真としての完成度が高まったと思います。



金 賞（1作品）

「帆引船夕景」(千葉県・野澤 様)

夕陽の中、帆を見事なまでに張った帆引船。その遠くにもう1艘が静かに水面を滑っており、その遠近の立体感が見る者を引き付けます。茨城県霞ヶ浦での夕景ですが、じっと見ていると静けさの中に吸い込まれていくような感じがします。夕陽を帆の中に取り込んだことが成功の一因。水面の色調と夕陽のコントラストが実に素晴らしい。



銀 賞（1作品）

「樹氷」(京都府・中村 様)

少しでも触れると壊れそうな雪。小枝の先の雪まで、その質感をうまく撮っている。構図の8割までが樹氷で占められていますが、周りは奥深い山ということを窺がわせませす。厳しく凍てつく樹氷から、荘厳さも伝わってきます。まさに“樹氷”を感じさせる代表的な写実的写真です。



銅 賞（1作品）

「春色」（愛知県・大嶋 様）

斜光線を上手に捉え立体感を生み出しています。水田に浮き上がる桜、そのほのかさが十分に伝わってくるし、桜のピンク色も生きています。もう一度レンズを向けたくなるような光景です。



以下、「春夏秋冬各部門賞」、「佳作」の各作品の掲載は、順不同です。

春夏秋冬部門「春賞」(2作品)

「薫る」(兵庫県・岡林 様)

古木のボリューム感が太古の原風景を創り出していることが見てとれます。白神山地のブナ林の瑞々しさが伝わってきます。まさに新緑の季節感に満ちた写真です。



「春景」(埼玉県・大谷木 様)

峰々の頂きは雪を抱いていますが、山の中腹は早くも花で満ち溢れている。その対照が、春らしい初々しさを醸し出しています。白馬村の雄大な風景写真です。



春夏秋冬部門「夏賞」(2作品)

「とんぼ稲田」(愛知県・浅岡 様)

計算づくで作り上げた田んぼの中のトンボ。ユーモラスで見ている思わず笑ってしまう作品です。手前の日傘をさす人の存在が写真を効果的にしています。



「海の日」(沖縄県・長堂 様)

点々とする5隻のボートと珊瑚礁の組み合わせが面白い。見ていて楽しい。広い海をうまくコンパクトに捉えており、写真を見ているだけで沖縄の海を堪能できるようです。



春夏秋冬部門「秋賞」(2作品)

「夕刻の浜辺」(鳥取県・牧原 様)

かなたに巨大な風車を取りいれて、風の強さを表現するなど、スケールの大きさが伝わってきます。夕刻の色合いをうまく出し切るなど、技術的にも画面構成もうまい。手前の釣人も上手に配しています。



「錦秋の嵐山」(京都府・河野 様)

まさに燃える嵐山。清水の流れに乗り入れる船を巧みに取り込み、船頭の竿を出すタイミングをうまくとらえています。収まるべき所に、きちんと収まった写真です。難をいうと、舟に来客の少ないのが残念。



春夏秋冬部門「冬賞」(2作品)

「初冬の滝」(福島県・近藤 様)

滝の流れを強調、樹氷とともに近づく冬の寒さを実感させます。滝と樹氷の組み合わせを十分に考えて、上手くまとめています。



「都会の夕景」(千葉県・藤本 様)

東京タワーを前方にとらえ、高層ビル、光のオブジェ、自動車の光跡など、十分に頭に叩き込んだ計算され尽くした作品。東京六本木という都会の中での美しさをあらためて再認識させられた思いです。現代感覚を取り入れた、上手なアングルからの撮影です。



佳 作（作品名、氏名、在住県のみ掲載）... 21 作品（順不同）

- | | |
|--------------------|------------|
| 「新学期の頃」 | （愛知県・中根様） |
| 「陽春の姫路城」 | （大阪府・金岡様） |
| 「ときめきの一瞬」 | （静岡県・平野様） |
| 「茶畑と富士」 | （東京都・西岡様） |
| 「夢さくら」 | （群馬県・櫻井様） |
| 「宝来町の千枚田」 | （静岡県・古見様） |
| 「花火見物」 | （広島県・篠原様） |
| 「新緑への誘い」 | （宮城県・熊谷様） |
| 「家内安全」 | （滋賀県・倉崎様） |
| 「由良川の夏」 | （大阪府・松浦様） |
| 「海の灯まつり」 | （埼玉県・鹿島様） |
| 「クライマックス」 | （愛媛県・守谷様） |
| 「秋の賑い」 | （秋田県・関様） |
| 「高原の秋」 | （岡山県・河口様） |
| 「黄金色に染まったから松」 | （東京都・井手様） |
| 「夕陽の千潟」 | （熊本県・野川様） |
| 「冬の風物大根干」 | （静岡県・飯田様） |
| 「佐久の流しひな」 | （長野県・坂神様） |
| 「家路」 | （東京都・神田様） |
| 「雪の日」 | （神奈川県・田中様） |
| ²¹ 「結婚」 | （滋賀県・石田様） |

以上